

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和４年度）

（事業所名）高周波熱錬㈱ 赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1－1 環境保全活動に関する方針

環境方針

理念

高周波熱錬株式会社は、かけがえのない地球の環境保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、経営活動の重点課題としてとらえ、地球、地域社会の環境保全を積極的に推進する。

方針

クリーンな高周波誘導加熱技術分野のパイオニアカンパニーとして、次の事を実施する。

- （１）製品の開発・生産活動の各段階及び製品・サービスの提供において、環境汚染の予防に努めるとともに創意工夫で環境負荷の継続的改善に努める。
- （２）継続的改善として、省エネルギーの推進と省資源、リサイクル化、廃棄物の削減を図る。
- （３）環境保全に関連する法規制及び協定その他の要求事項を遵守し、環境マネジメントシステムを行う。
- （４）具体的な環境目的及び目標を定め、これらの達成に努めるとともに、定期的に見直し、必要に応じて改訂する。
- （５）この環境方針を達成するために、当社の関係者を含む全従業員は、環境マネジメントシステムを遵守する。

この環境方針は、当社の全従業員に周知徹底し、社外からの要求に応じて公開する。

（目標・計画等の公表の方法についても記載すること）

1－2 環境保全活動に関する組織体制

環境保全委員会（委員長：工場長）

委員会の構成

	責任者	推進者
製造１課	課長	副課長
製造２課	課長	グループ長
製造３課	課長	グループ長
生産管理課	課長	グループ長
業務課	課長	課長補佐
品質保証課	課長	副課長
生産技術課	課長	課長補佐
省エネ委員会	エネルギー管理士	

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー使用量 平成22年度を基準に、毎年1%削減	- エネルギー使用量 100.5%(前年度比) - 生産量 102.6% (前年度比) - エネルギー原単位97.8% (前年度比)	- サイリスター式発振器 75KW を1台トランジスター式発振器 100KW へ更新 - ITW 引抜設備 37kW を1台高効率電動機へ更新 - 高圧キュービクル変圧器を1台トップランナー変圧器へ更新 - 工場中の油圧ポンプ自動停止
可燃ごみ平成22年度を基準に、毎年10%削減	- 可燃ごみ増減なし(前年度比) - リサイクル6%増 (前年度比)	継続
紙購入量 平成22年度を基準に、毎年10%削減	コピー用紙使用量88kg (3.5%) 減 (前年度比)	継続
環境配慮物品購入割合平成22年度を基準に、10%増加	購入割合67%	継続
積載率平成22年度を基準に、毎年10%向上	- 積載率 (前年度比) PC14%向上 - フープ 3.4%向上 - 新規路線便運用での小口出荷改善による使用台数削減。	継続